

3月21日「国際人種差別撤廃デー」、3月24日「著しい人権侵害に関する真実に対する権利と犠牲者の尊厳のための国際人権デー」と、3月は国連が定めた人権関連の国際デーがあります。日頃、意識しない人権について、このような国際デーで、そのテーマを考え意識することは、人権感覚を磨く意味でも非常に重要です。ちなみに、3月30日は「ごみゼロ国際デー」。ゴミ出しも環境や処理する人を思いやる人権意識が反映されます。日常生活かの何気ない行動や考え方の積み重ねが人権意識を育てます。



思いやりのある“ごみ出し”とは？

私たちの家庭から日々出る“ごみ”(廃棄物)が、どのようにして運ばれ処理されているかを考えたことがありますか？山梨県の資料(第4次山梨県廃棄物総合計画)(※1)によれば、山梨県民1人1日あたりの廃棄物排出量の平均は985g。1年間だと360kgになります。全国平均より7%ほど多く、この十数年の間なかなか減少していません。

特に、家庭から出る“可燃ごみ”で問題なのが、“生ごみ”です。生ごみが可燃ごみに占める割合(重量比)は全県平均だと約2割ですが、都市部だと4割前後になります。水分を多く含む“生ごみ”の割合が多いと、市町村が運営する“ごみ焼却炉”に石油を加えて燃やす必要があるため、ごみ処理費に膨大な費用(≒1人年間約1万円)がかかります。

また生ごみは、腐敗しやすいため可燃ごみ袋から悪臭が出たり、鳥獣に食い荒らされたりしがちです。ごみ収集車のプレス板にごみ袋が挟まり破裂した時、その汁が作業員に飛び散ることがよくあります。「夏場のごみ汁は非常に臭いがきつい。飛び散って服や顔にかかると、1日中臭いが取れない」。これは、或る作業員の方の言葉です。

ごみ袋が悪臭を放つ最大の原因は、“生ごみ”です。ごみ収集の作業員にとって、湿った生ごみが沢山入っている回収袋は“苦労の種”です。「何個も何個も、水気を含んだ重いごみばかり出されると、身体が持ちません」「生ごみや水分を含んだごみはしっかり水気を切って、45リットルの袋をパンパンにせず、小分けにして出してほしい」これらも、ごみ回収作業員の方々の言葉です。

私たち住民も、生ごみはできるだけ可燃ごみ袋に入れず、コンポスターなどで堆肥にして庭土に混ぜたり、家庭菜園などで有効利用していくことが大切です。甲府市などで普及を進めている“キエーロ”は、刻んだ生ごみを黒土等と混ぜて分解・消滅させる方法で悪臭や虫も湧きにくく、お勧めの方法の一つです。(※2)

県内の多くの市町村には、生ごみ堆肥化に役立つ器具購入の補助金制度があります。やむを得ず、生ごみを回収袋に入れる場合でも、必ず“水切り”をしましょう。生ごみを入れたネットを“ギュッ”と固く絞るだけでも、水気を大幅に減らすことができます。

よろしければ、“ゴミ清掃芸人”として有名な滝沢秀一さんの著書(※3)を見て頂くと、ごみ収集作業員の苦労や“思いやりのあるゴミ出し”のコツを楽しく学べます。



(※1) 北杜市「避難行動要支援者制度について」
https://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sb/haikibutu_keikaku.html



(※2) 甲府市「自然の力で生ごみを分解！キエーロを始めてみよう！」
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/genryo/kie-ro.html>

(※3) 滝沢秀一・著「すごいゴミのはなし：ゴミ清掃員、10年間やってみた」(学研・2022年刊)

活動報告

人権啓発講演会

2月21日(水)、甲府地区広域行政事務組合消防本部にて、「人権感覚を磨こう」と題して、講演会を開催しました。

2月27日(火)、市民講演会を開催しました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：(株) 成心設備、西関東開発 (株)、(株) ウィルマート、(株) R&C、(株) フジコー、(株) 渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株) とちの木

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市市立真川小学校 (六年生女子)

人権教室で学んだこと

わたしは、最初に聞いた人権の話で人権という意味はむずかしいと思っていました。けれど人権とは、「命を大切して幸せでいること」だと言うのを聞いて、簡単な意味だし、本当にだれもが思うことだと思いました。ビデオを見る時には、今もたくさん人の国で戦争をしていて、悲そうな思いをたくさん人がしているということが分かりました。とくにルワンダという国は、たくさん人が殺されて国中死体だらけの部分を見てとてもおどろいたし、おそろしいと思いました。その死体を最後にはみんなが協力してかたずけるところがすごいと思いました。

人権教室を体けんして日本はとても幸せだということをとて思っ、たし、ビデオの最後のわたしたちへの願いをし、かり守って人権を大切にしようと思いました。

甲府市市立真川小学校 (六年生女子)

人権教室の話を聞いて、感じたこと

私は、今日すぎとう先生の話を聞いて、おどろく、心に残りました。特に、人権の話と、ルワンダの戦争の話です。

まず人権の話では、「人権とは、人の生きる幸せのための権利」だと知りました。自分だけを守るのではなく、身近な人から守っていくのが良いことだとお教えていただきました。人は、全人顔もちかければ、性格、一人一人の考えかたもちがうんだと知りました。

次に、ルワンダの戦争についてです。さすがに先生に、動画を見させていただけました。動画には、ルワンダの人々のくらしがすごくたという内容でした。そのような思いをしてる人によりそっていた。MSFという組織があることを知って私も、そのような人他になりたいと思いました。なので、私は、これまで以上に、色々な人にやさしくして行きたいです。